



秋田県公報

| 目 次 | ページ |
|-----|-----|
| 公告 | 1 |

公告

○秋田県名誉県民の選定及び事績(総務課)……………1

公 告

秋田県名誉県民条例(昭和五十六年秋田県条例第一号)第一条に規定する秋田県名誉県民として次の者を選定したので、同条例第三条第二項の規定に基づき、当該者の事績を次のとおり公表する。

平成十八年十二月二十日

秋田県知事 寺 田 典 城

一 秋田県名誉県民

- (一) 氏 名 遠 藤 章
- (二) 生年月日 昭和八年十一月十四日
- (三) 本 籍 東京都杉並区荻南一丁目四百五十番地
- (四) 現住所 東京都杉並区宮前三丁目二番十九号

二 事 績

由利郡東由利町(現由利本荘市)に生まれ、昭和二十八年秋田市立高等学校を卒業し、昭和三十二年東北大学農学部農芸化学科を卒業後、三共株式会社に入社し、食品製造に用いる酵素の研究に従事する。昭和四十一年農学博士の学位を授与され、同年米国アルバート・アインシュタイン医科大学に留学する。昭和五十年三共株式会社発酵研究所研究第三室長を経て、昭和五十四年東京農工大学農学部助教になり、昭和六十一年同学部教授となる。

平成九年退官後は、株式会社バイオファーム研究所代表取締役所長及び東京農工大学名誉教授として現在に至っている。昭和四十六年に約六千種のカビ菌類からコレステロール合成阻害物質を抽出する研究に着手し、青カビの一種から得られた

物質(ML-236B)に血中のコレステロール値を下げる作用があることを発見した。これを新薬として開発するために数々の困難を乗り越えて粘り強く研究を続けた結果、ヒトにも有効であることを証明したことで、スタチンと総称されるML-236Bの系統の薬剤が多くの製薬会社により製造され、現在では、世界中で三千万人以上の心筋梗塞をはじめとする血管障害性疾患の患者の治療に用いられている。こうした氏の一連の研究は、高コレステロール血症の予防と治療に決定的な役割を果たしており、医療分野への貢献は、絶大である。

氏の研究は、国際的にも高い評価を受けており、昭和六十二年ハインリッヒ・ヴィーラント賞、昭和六十三年東レ科学技術賞、平成十二年ウォーレン・アルバート賞、平成十八年日本国際賞、同年マスリー賞等多くの表彰を受けるなど、その功績は、県民ひとしく誇りとするものである。

発行者

秋田県

購読料金

秋田市山王四丁目一番一号
一月三千六百七十五円(税込)

印刷所

印刷者

秋田市山王七丁目五番二十九号
株式会社松原印刷社
電話 0862-876600 FAX 0863-000505
E-mail: matsubarara@matsubarainatsu.co.jp
秋田市山王七丁目五番二十九号
松原繁雄